

祝辞

自然界に春の息吹が感じられる今日のよき日に、崇城大学の大学院修了証書ならびに学部卒業証書を受領された卒業生の皆さん、卒業おめでとう。心から敬意とお祝いを申し上げます。

論文の審査、および厳しい最終試験に合格し、晴れて「博士」ならびに「修士」の学位を得られた大学院修了生の皆さん。皆さんの榮譽に対し、心からお祝い申し上げます。皆さんが、「博士」「修士」の学位を修得されたことは、科学分野、芸術分野に、一生懸命取り組んでこられた研鑽のたまものであり、本学の誇りでもあります。

また、本日、蛍雪の功なり、栄えある「学士」の卒業証書を得られた学部卒業生の皆さん。皆さんは学業のみならず、各種プロジェクトやクラブ活動、留学やボランティアなど様々なアクティビティにも積極的に挑戦し、驚くほどの人間力を身に付けてくれました。その姿は、四年或いは六年前の入学時に比べ、本当に逞しくなったと誇らしく思っています。ただ残念なことに、皆さんが入学した当時は、コロナウイルス感染症のパンデミックにより、授業の多くが遠隔授業でありました。従って、修学や研究、あるいは友人との交流等において、心残りの方がいるかもしれません。しかしながら、このような体験を通じて、ニューノーマル時代のライフスタイルを身に付けることができたのではないかと思いますので、今後、これを糧に社会で活躍されることを願っております。

そして、保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

親元を離れ、身の回り一切を自分で律しながら学生生活を送ったお子様が多く、ご心労もあったことと思いますが、逞しく自立した姿をご覧になって、さぞかし安堵されていることと思います。重ねて、お祝い申し上げます。

ところで、卒業生の皆さんがこれから船出しようとする社会は、政府が「ソサイエティー5.0」社会と呼んでいるように、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が高度に融合した、いわゆる、近未来的社会を迎えようとしています。即ち、IOT(Internet of Things)や人工知能 AI の普及と共に、今後、現実拡張や人間拡張が急速に進展し、便利で快適な生活が実現できると言われています。ただ、昨年までは、コロナ禍において半導体の供給が追い付かず、産業の停滞が問題になっておりましたが、世界トップの半導体メーカー、TSMC の熊本進出により、今後、一気に近代化が進むと予測されています。例えば、企業では、あらゆる分野が自動化され、安全性、生産性の向上と共に創造性を重視した職場になると言われていますし、また、モビリティは自動操縦の空飛ぶ自動車が主流になるかもしれません。そして、通貨はキャッシュレスを経てデジタル・マネーとなり、さらに、モノの所有がシェアへと変化するなど、社会の価値観そのものが大きく変わるのではないかとされています。まさに、well-being を目指した、新時代の到来であり、社会は今後急速に大変革を遂げていくことになると思います。

しかしながら、その一方で、このような華やかな新時代とは異なった負の未来も予測されています。それは地球温暖化等による環境問題と開発等による生態系の破壊であります。地球温暖化は、化石燃料消費による CO₂ の蓄積によるものであり、球磨地方を襲った集中豪雨のように、自然災害を招く原因ともなっています。さらに、生物の種の絶滅は、恐竜時代の絶滅スピードと同じ、驚異的な速度で進行しているといわれています。また、ロシアやイスラエルによる軍事侵攻のように、蛮行とも言える、最悪の侵略戦争が突然発生するなど、世界平和に対するリスクも急速に増大しつつあります。まさに人類にとって大きな危機が迫りつつあるのです。

このように、様々な難題が横たわっていますが、時代は、それでも未来への道程を確実に前進しながら、しかも短期間で社会変革を遂げて行くことになると思います。

そこで、卒業生の皆さんにお願いしたいことは、人類にとってのより良き未来を築くために、皆さん自身が様々な課題解決に主体的に参画してほしいということであります。従来、社会の構造や価値観が急速に変化するとき、そのエンジンは常に若者が担ってきました。若者は過去あるいは現状の価値観に染まっていないので、新しい課題に挑戦する変革者として活躍できるのだと思います。若き卒業生の皆さん。皆さんの積極的な参画を、未来社会は求めています。是非、主体的に、未来課題へ取り組んでいただき、豊かで持続可能な社会を構築して欲しいと願っています。

一見、大き過ぎる課題に気後れされるかもしれませんが、決して難しいことではありません。皆さんお一人お一人が、一歩前に進むよう心掛ければ良いのです。

2021年、真鍋淑郎先生が、ノーベル物理学賞を受賞されました。大気中の、二酸化炭素の増加が、地球温暖化の原因であることを明らかにしたことでの受賞でありましたが、その研究成果は世界における環境対策を大きく進展させる結果となり、今日、国連が推進する「持続可能な開発目標」、SDGs(Sustainable Development Goals)の活動へとつながりました。

その真鍋先生は、若者へ贈る言葉として、「カッコいい仕事(研究)を求めるのではなく、好奇心を満たすもの、そして自分が得意とするものに挑戦するべきだ」と述べておられます。

自分は、何をしたいのか。自分にとって何が大切なのか。自らに問えば、その答えは既に皆さんの心の中にあると思います。早速、それに向かって踏み出してください。それが皆さん自身の個性であり、才能でもあります。そして、それが社会課題への取り組みになり、社会変革へとつながります。人生は一度きりしかありません。悔いのない、そして自分に誇れる生き方を歩んで欲しいと願っています。皆さんには無限の可能性があります。是非ワクワクするような、夢や目的を持ち、未来づくりに参画してください。時代が大きく変革を遂げるとき、成功の方程式はありません。未知の世界に挑戦する勇気こそが重要であります。人のためになり、人に感謝される、遣り甲斐のある夢を持つよう心掛けてください。必ずや、素晴らしい未来社会の創成に貢献できると確信しています。

さて、最後になりますが、皆さんは、ここ崇城大学において素晴らしい友人を沢山得ることができたと思います。どうか生涯の友として友情を分かち合っていたきたいと願っています。そして、是非本学を訪ねて来てください。教職員一同また皆さんとお会いできる日をお待ちしております。

皆さんのご活躍とご多幸を祈念して祝辞といたします。

令和七年三月二十日

学校法人 君が淵学園
理事長 中山 峰男